

第 11 回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

テーマ 「頂」

今回の開催地の富士市の名所である富士山とかけて、志高く大会に臨んで欲しい気持ちからこのテーマにしました。

今大会で終わるのではなく、来年の夏季監視活動につなげるため、他のライフセーバーのスキルを学び、己の糧とし自己のレスキュー技術を磨いてほしいと考えています。

今年度最後の大会、皆様の活躍を心より願っています。記憶に残る楽しい大会になるようご協力お願いいたします。

◎チーム種目

ダブルポイント制について

今年も昨年に引き続きダブルポイント制を導入します。この制度の導入のきっかけはライフセービングをする仲間を増やして、チーム種目に参加してほしいという願いから導入が始まりました。チーム種目に参加できない大学は、今後チーム種目に出場できるように仲間を増やして頂けたらと思います。

また、昨年よりルールが改正されマネキン水没の失格が減りました。マネキン水没の失格が減ったことにより、今までの大会でも安全・確実が最優先事項にありましたが、より迅速に行う事ができるようになり、どの大学がレスキューで3原則をしっかりと守ったNO.1なのか分かるようになります。そのなかでチームの団結力を高めてもらえたらとも思います。

◎学生選抜チームについて

<学生選抜チームとは>

4×50mメドレーリレー（男女）において、決勝に出場出来ない予選タイム9位/10位/11位/12位の学校から1名ずつ選出し、学生選抜チームを作ります。この選抜チームは、1位から8位を決定する決勝戦に出場することが出来ます。

決勝は9コース目にて行います。ただし、オープン参加となりますので得点は入りませんが、記録を出した場合は公式記録として認められます。選抜チームの参加選手の決定につきましては、9位/10位/11位/12位のそれぞれの学校の代表および学生委員会大会担当の話し合いにより決定します。

<学生選抜チームを結成する目的>

惜しくも決勝進出を逃してしまったチームにもチャンスをつくって新たな可能性に挑戦してほしい、来年は自身が所属するチームで決勝に残れるように頑張りたいと思ってほしいという考えから学生選抜チームを結成することにしました。

また、決勝に出場するチームだけでなく、他に出場するチームを応援することで、より盛り上がるのではないかと考えています。さらに、決勝という場を経験することで、今後の練習の質の向上を目的としています。

◎学生委員会イベント

『Top of Lifesaver』

今大会では、テーマである「頂」にもありますように、学生委員会で様々なイベントを企画しております。競技だけでなくイベントでも1番を取っていただきたいと思っています。

「笑顔・真顔ギャップコンテスト」のような普段笑顔が素敵な人の一味違う顔が見られるイベントを行います。

また、今大会では他にもたくさんのイベントを準備しています。今年度のイベントは学生委員の力だけでは成功させることはできません、学生全員の力が必要です。ぜひ皆様の積極的なご参加お待ちしております。

詳しくは二次要項にてお知らせしますので楽しみに！

◎ゴミについて

前回に限らず、大会では競技エリア付近に多くのゴミの放棄が見受けられています。空になったペットボトルなど、観戦し終わったあとそのまま置いて帰る人が見られます。富士水泳場は公共の場であり、私達が活動していく上でとても大事な場所です。ゴミの放棄が減らない場合、大会の開催が困難になる可能性があります。今一度ゴミの管理について各々見直し、各大学ゴミ袋を持参し持ち帰るようお願いします。誰もが過ごしやすい環境作りを心がけましょう。

◎エントリーについて

今年度より、全日本学生ライフセービング選手権大会、全日本学生ライフセービング・プール選手権大会と2大会連続でエントリーミスを行った大学は次年度の大会への出場を停止とします。

また、例年制限タイムを守れない学生が多く見受けられます。今年度より個人・団体含め大幅に制限タイムを超えた場合には次年度の全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会への出場を停止とします。

皆様エントリーに関しては細心の注意を払うようお願いいたします。